

昭和十六年一月十五日發行 (一日發行)

座口金

二六二一八番 (櫻蔭共濟會)

發行所 櫻蔭共濟會  
電話大塚五〇〇九番

印刷所 同印刷所

青田伊祐  
廣 (電話下谷五五七番) 館

# 櫻蔭會報

號八十三百二第

## 謹賀新年

皇紀二千六百一年の新春を壽  
ぎ一億一心臣道實踐の誠を致  
さむ事を誓ひ會員各位の御奮  
闘を祈り奉ります

昭和十六年一月元日

社團 櫻蔭會  
法人 櫻蔭會

## 謹賀新年

昭和十六年一月元日

社團 櫻蔭共濟會  
財團 櫻蔭高等女學校  
法人 櫻蔭共濟會

## 會史の光榮

櫻蔭會史をお受け取りの方々はその巻頭に  
本會史八昭和十五年十二月三日  
長クモ 皇后陛下東京女子高等師範學校二行啓ノ御御持還  
り品ノ中ニ差加ヘラルル光榮ヲ擔ヒマシタ  
本會史八昭和十五年十二月九日母校校長ヲ經テ  
長クモ 皇太后陛下ニ獻上ノ光榮ヲ擔ヒマシタ  
の文字を御覽になりました。洵に光榮の至りに存じま  
す。母校々長下村先生は「本會に有難いことでした私もうれ  
しい」と仰いました。「會史の編纂は大變だつたせう、短時  
日によくもこれ丈のものが出来ましたね、今して置かなかつ  
たら出来ませんでしたね」と附け加へられました。本會の光  
榮を皆様にも喜んで頂きたいと思ひましてこれだけのことを  
御報告いたしておきます。

## 年頭の辭

斯波 安

光輝ある紀元二千六百年を  
送つてわれら會員も紀元二千  
六百年を迎へた。新年の氣  
持はまた格別である。紀元二  
千六百年は劃期的の年、此年  
に於て國家は新體制を樹立し  
た。即ち大政翼賛の爲に一億  
一心職域奉公に邁進せよとの  
臣道を示した。國民は國家の  
爲ならばとあらゆる苦難を忍  
んで各その務を果すべく努力  
した。我が櫻蔭會に於ても國  
策に沿つての職域奉公をなす  
べく、昨年四月より女子技術  
員養成所を開き「科學する心」  
を養ひ、社會の需要に應ずべ  
く若い女性に修業せしめた。  
この成績は小さいながら良い  
結實であつた。現に今もこの  
仕事を繼續しつゝあるが、本  
年は一層この仕事を擴充した  
いと想を練つてゐる。己に紀  
元二千六百年記念事業として  
女子工業學校創立を決議した  
以上何としても、それを實現  
せしめねばならぬ。

絶に因るも、亦よく忍苦に忍  
苦を重ね熱と誠と力とを以て  
終始一貫目的に向つて、邁進  
するの氣魄があつたからであ  
る。本會が何物かをなさんと  
する場合、母校といふ大なる  
後援者がある。數千の錚々た  
る會員がある。この大きな力  
を有してゐる以上成さんと欲  
して成らざることはない筈で  
ある。

會員の一人一人が滅私奉公  
の心を以てこれに當り、熱誠  
以て合體し協力したならば、  
無より有を生ずるに至るで  
あらう。小より大を成すに至  
るであらう。而して成功する  
であらう。最早今日までに多  
大なる力を致されし會員の方  
も多々あるが、新年に當り全  
會員の方々、本會事業達成の  
爲に清新の氣持で一齊に立ち  
上つて、強き助力を致さるゝ  
を惜まれざらんことを希ふの  
である、何卒自己の事業と思  
はれて、皇國の爲にする奉仕  
と思はれて。

これが新年に於ける私の切  
なるお願である。

## 會告 (一)

### 新年懇親會御案内

昭和十五年新年懇親會を  
左記要項により開催いた  
しますから御誘ひ合せの  
上多數御來會下さいませ  
やう御案内申上げます  
一、日時 一月廿五日  
(土)午後一時半より  
四時まで  
一、會場 母校第一合併  
教室  
一、會費 五拾錢  
一、講演 統制經濟ニ就  
テ  
企劃院書記官  
鈴木重郎氏  
一、回答 一月廿四日迄  
櫻蔭會事務所へ

## 會告 (二)

### 櫻蔭會史代金

櫻蔭會史御申込の方には  
既に發送を終わりました。  
ついては  
一、未だお拂込ない方  
は八圓五十錢  
(會史代八圓  
送料五十錢)  
一、七圓御送附濟の方  
は一圓五十錢  
(送料五十錢)  
一、海外の方は外に送  
り料  
支那 九十五錢  
ジャバ 九十五錢  
アメリカ 貳圓八十八錢  
右至急御送り下さいませ

## 會告 (三)

### 櫻蔭會史再版

初版は多數の御贊同を  
經て締切りましたが、  
其後に御申込のむきも  
少くございませぬので  
貳百部に達したら再版  
いたしたいと思ひます  
から御望みの方は、此  
際至急御申込下さいませ。  
一、定價 八圓  
一、送料 五拾錢  
支那 九十五錢  
アメリカ 貳圓八十八錢  
一、申込期限  
二月末日迄

## 目次

- 一、年頭の辭 斯波 安
- 二、櫻蔭會と新體制 孝
- 三、工業教育研究報告 山崎ミツ
- 四、櫻蔭女子高等工學院 松村とみ
- 五、設立募金狀況 委員
- 六、皇后陛下母校へ行啓 委員
- 七、役員報告 委員
- 八、會計報告 委員
- 九、本會委員教育功 委員
- 一〇、共濟會記事 吉村千鶴子
- 一一、記念建碑について 御
- 一二、支部だより 吉村千鶴子
- 一三、松本正子さん歸朝さ 安
- 一四、密書 斯波 安
- 一五、母校に皇后陛下下を迎へ 孝
- 一六、泰りて 沼澤 孝
- 一七、漁村の曙 角田 孝
- 一八、同和をみな 山本 トメ
- 一九、大洲を断片 山本 トメ
- 二〇、岡田先生をおもひ 井澤 孝
- 二一、求職、求婚 勝子
- 二二、求職、求婚 勝子

櫻蔭會の新體制

沼澤孝

一、定款第一條の冒頭に「會員相互の親睦を圖り」とあるが、同じ學校に同じ目的の教育をうけた我等は、自然に相親しむ情をもつて居るから圖る必要はないやうにも思はれる。但し老若、多數の親睦の方法として長い間年中行事の新年懇親會、入會懇親會、故人に對しては慰靈祭が行はれて來た。

同じく第一條の次の句に「教育に關する研究施設をなし」と云ふ事も會史を拜見すると種々様々な研究會があつたやうだ、施設と云ふのは櫻蔭高女の設立が主に之に相當するのだらう。

次に併せて女子の向上發展を期するを以て目的とすとあるは之は昇格運動等がその大なるものであらう。

第二條の三、會員の互助と云ふのは共濟會を派生して大に發展した譯だ。他の細かいいろ／＼の事業も時々行はれてゐる會の運行はまづ「定款に則してゐると云ひ得る。

二、世界を擧げての世記の苦惱に我國も直面し、國家一億一心、新體制樹立の時に際し

本會も過去の之等の業績を再檢討し、更に一層之を發展せしめて、會の存在の價値を高め、國運の隆昌に寄與せねばならぬ。

即ち第一條冒頭會員相互の親睦は「會員の協力」へ強化さるべきではなからうか。次句の教育に關する研究、施設をなす爲には一に會員の協力によらねば不可能だ。

女子の向上發展を期するも同様、一に會員の協力による外に方法はない。

三、共濟會はその定款による櫻蔭會の事業資金を提供することが第一の目的となつてゐるから、櫻蔭會員たるものは入會すべき義務があるのではないか。従來の自由主義は此際清算されるべきではないか。また共濟會としては資産の運用についてもつと大乗的に考へてはどうか。共濟會をものにのみ凝り固まつて居過ぎはしないだらうか。

四、既に一昨年の事だが、自分が岡山支部を訪問した際、西森元氏は「櫻蔭會は大會小會を頻々と開いて會員を鼓舞

すべきだ」と提言されたが爾來本部に於いても、前記の大會定例の役員會の外、各種の委員會、級代表會、年度別の座談會等が履行はれた。關西支部の活動による樞原神宮大前の總會の如きは意義深き空前の催であつた。

自分は之等の會毎に必ず出席して専任主事たる責任を盡さうと努力したが、一つの會が開かれると必ず其効果は歴然と現はれ、必ず何等かの收穫がある事をひしと感じた。

五、特に最近の級代表會に於て、二千六百年記念事業たる女子工學校設立についての協力量につて全會員への勧誘を願つたが、熱烈なる委員理博加藤セチ氏や、銃後厚生の國策に東西奔走せらるる、鷲尾幾子氏の愛國的情熱的スピーチに鼓舞されてか、一口拾圓と云ふ最低額の寄附は忽ちに二三氏の百圓となり、有力者の千圓となり、五百圓、貳百圓、五拾圓と申出でる會員が、ぞく／＼現れて來た。事業が國策への協力である爲なのは勿論だが、會合による激勵せられたる結果である事は云ふまでもない。

六、主事評議員中には有力者ではあるが、定例役員會も欠

席勝の方がある、之は會が從來のやうに親睦を主とするなれば代りあつて何とかなつてゆくが、協力を要する時代となつては、欠席勝ちで、出席しても意見を述べ賛否の採決に入るだけの役員ではもの足りない。實行力のある人、否實行の意氣ある人餘裕ある人が役員であれば、どんなによいだらう。

之等の缺陷を補ふ爲、會員中より委員が多數擧げられて居、役員に勝るとも劣らぬ奉仕が行はれて居る。

七、現在會の事業の主なるものは、女子の工業教育研究であり、之は既に施設の爲の資金募集にまで進み、主事數名は之が委員として、主事の仕事より數倍の努力と時間を提供されてゐる。

十四年度に盛に行はれた女子教育研究會は十五年度に入つて一向振はない。工業教育のみに偏して了つた。之は誠に残念な事だが必竟委員の數が足らぬか、委員が兼任である爲か、工業委員でない主事は少しこの方面へ力を入れていたゞきたいと思ふ。

八、年度の座談會は僅に大正四、五、六、七を開いただけだが、出席された方は必ず從

來より會の事に協力の意を示されるし、中に新人を發見して大に奉仕していただくやうになる。

まづ別項記載の newly 富山支部結成に努力された森八千代氏の如きは工業等創立寄附に力を入れた。井上てい氏は人事係を快よく引きうけられ、坂本靜江氏は會員の隣組指導者としての理念を示唆され、自分などは隣組長の妻として大に参考とする事が出來た。主事會は正式に會の仕事として年度座談會を採あげべきではあるまいか。

九、定款第二條八の各種の研究調査については前年度に瀧浦さた氏等の「國産染料」につき總會でその成果が發表されたが、會報前號に、客員大槻先生により本會員に對する御親切な鼓舞をいたゞき有難き極みである。前年度には若き會員北田慰子氏等、創立に盡力され客員數氏の御熱心な指導を得つゝあると云ふ地歴の研究が本會の支持する所となり、其發展を期して居るが猶會員の奮起により大槻先生の御熱意の徹するやうのつて止まない。

十、櫻蔭高女が私立として一

流の地位を占めてゐる事は、主として經營者諸姉の功績と思ふが、我國女子中等教育の内容から考へて、世間的の時流のさうした評價のみに甘んじてゐてよいものであらうか。本會に於ける女子教育研究會の主流となつて我國女子中等教育の革新に資する所があるべきだと思ふ。

十一、要するに本會の新體制は協力奉仕でなければならぬ。群雄の割據であつてはならぬ。個々の會員は會に出て、ちつとも面白くない。何のたしにもならないと云ふ狭い打算的な考へをもつ人があるならば此際一切思想の建直しをすべきだ。

種々の機會に出席して協力する。即ち個々の小力が集まつて大となり、國家に、社會に、女子の向上に役立つべく奉仕せねばならぬ事を全會員が意識し、實行する。之が本會の新體制ではあるまいか。

十二、以上書き終つた昭和十五年十二月廿七日、新聞に大政翼賛會の大學、高等、専門諸學校校友會の新體制案が發表された。兼て地方會員など折々櫻蔭會で働く自分に對して「母校の爲めによく御盡し下すつて」と云ふ言葉をいた

どき、會員が櫻蔭會と母校とを二にして一の如く混同して居られる事を不思議に思ひ、心中やゝ、舊式だなどは思つた。

今回の発表は在校生の校友會の如く思はれるがやがて卒業生團體にも及ぶのではないか。この三者の統制がよく行はれ、ば互に補強して従來停滯的な女子の向上進歩を促進する力を醸成し得るに至りはしまいかと望みをかけないでもない。

### 櫻蔭會史の完成に就いて

山崎 ミツ

昭和十二年九月中旬に櫻蔭會史編纂に着手されてから、三年半、光輝ある紀元二千六百年も暮れようとしてゐる。此のころに、やつと御手許に御届けすることが出来まして係一同ホツといたして居ります。遅延に遅延を重ねましたことを萬々御詫び申上ります。

併し前記の光榮を以て其の終りを結びましたことは御同慶に堪へません。出版屋の好意で大變よい紙質を用ひてくれ、本の品位を高めましたことを當節柄御よろこびたいのであります。約千頁といふ約束が約二百頁を増加いたしましたために代價の追徴をいたさねばならないことになり此點恐縮いたして居ります。併し母校々長下村先生は「よくこなに安く出来た」と仰せ下さいました、時價に徴して一圓の追加をしたことは決して不

等でないことと思召いたゞけると思ひます、又頁數増加の爲めの追加で誤算にあらざることも念の爲申添へて置きます。思へば三年半の歳月と、三千數百圓の大金を投じての會史編纂は、中々大事業であつたと云へます。それが今日兎にも角にも終結したことは御同様よろこばしいことに思ひます。少しく過去を顧みて見ますと

四月に豫約募集、十月に印刷に附し、十一月廿日に見本刷出来、十二月下旬全部發送

既に御落手下さつた方々から非常に過分の御挨拶を電話や御手紙で御寄せいたゞいて恐縮して居ります。左にその二三の例を掲げます。執筆中の御激勵の御言葉と同様厚く御禮申上ります。皆様の御批正によつて再版の折の完璧を乞ふ次第であります。

只今待望の櫻蔭會史が屆きましたので早速繕きつくづくと拜見して居ります。此大都會史を御編纂下さいました御功績は何と讃へてよいかわかりません。先生をはじめ御關係下さいました方々に満腔の謝意を表します。この献身的な涙ぐましい御辛苦の結晶となる會史は子々孫々に傳へ貧弱な我家にも新たに光を添へさせていたゞきます。

昭和十二年の第一年度は、大部分資料の蒐集に終始しました、或は先輩の座談會先輩の訪問、會員の實情調査並に文献によるもの昭和十三年第二年度には専ら執筆と調査表の整理昭和十四年第三年、前半に原稿完成昭和十五年一月編纂委員會を閉ぢ、同月出版委員會に移すと同時に口繪寫眞、統計表の選考

下田先生の跋も嬉しう御座います。先生は今も御若く入らせられます。あの會史を拜見して羨えきつてゐた私の心の底に何か湧き上つて来るやうです。先生、ありがたう御座いました、厚く御禮申上げます。木村 よね

その一

一昨日午後御苦心のこもつた櫻蔭會史届きました。想像外の大冊で驚きました。本當に長い間の御勞苦のほど偲ばれて眼頭が熱くなるのを覺えました。築 みよ

その二

先生、櫻蔭會史を戴きました。不自由な眼でまた人様の御親切とで大體始めから終りまでの概略を得まして今更ながら先生の御努力の御容易ならぬことを知り熱涙がとめ度なく流れました。是を書きつゝも、また涙して居ります。

その三

一昨日午後御苦心のこもつた櫻蔭會史届きました。想像外の大冊で驚きました。本當に長い間の御勞苦のほど偲ばれて眼頭が熱くなるのを覺えました。築 みよ

九月三日 北辰社人事課員來

九月二日、始業式を行ふ。夏期休暇中製圖したるものに報酬を奥井講師より與へらる。最高參拾六圓四拾錢、總額參百八拾九圓八拾壹錢日數に應じ配分せらる。成績不良即ち製圖精密ならざるもの、責任感少きもの等數名注意せらる。長田中島飛行機株式會社機密掛來館、機密保持につき誓約書提出、松村責任者として捺印す。但し、八月引受分の殘餘に限り責任を負ふ。九月末日を以て全部終る豫定なり。

### 櫻蔭會工業教育研究部報告

九月五日 松村、奥井、服部三講師と來年度の教授要目につき相談す。

九月九日 文部省根本建築課屬來館、來年度學校建設の事に付親切に御相談あり。日本電機株式會社より常務課員求人に来らる。

九月十日 帝大附屬航空研究所に、松村奥井附添ひ見學に行く。

九月十五日 松村陸軍省に出頭諸種の問題につき意見をきく。

九月十六日 松村府立工藝學校に行き、設備を參觀す。(學校創立準備の爲)

九月十七日 斯波松村文部省に敷地の問題につき相談に行く。

九月十九日 逸見式計算尺の使用法を逸見より出張講習す(二日間) 大倉電機株式會社より女工の監督一名所

館せられ、この會の修了生貳拾名を是非雇ひたしと申込せらる。待遇最初は日給壹圓四拾錢、半歳毎に昇給貳年過ぎれば月七拾五圓位に昇給男女の別なく優遇すとの事なり。

本日より全生徒大いなる圖面の寫圖をなすため二ヶ所に教室を分け寫圖をなす。一ヶ所は、作業會館を借用す。

九月五日 松村、奥井、服部三講師と來年度の教授要目につき相談す。

九月九日 文部省根本建築課屬來館、來年度學校建設の事に付親切に御相談あり。日本電機株式會社より常務課員求人に来らる。

九月十日 帝大附屬航空研究所に、松村奥井附添ひ見學に行く。

九月十五日 松村陸軍省に出頭諸種の問題につき意見をきく。

九月十六日 松村府立工藝學校に行き、設備を參觀す。(學校創立準備の爲)

九月十七日 斯波松村文部省に敷地の問題につき相談に行く。

九月十九日 逸見式計算尺の使用法を逸見より出張講習す(二日間) 大倉電機株式會社より女工の監督一名所

望し來る。讀賣新聞社より技術員養成所の事につき問合せ來る。根本文部省屬來館敷地について情報の報告あり。

九月二十二日 松村太田に行き引受寫圖の問題につき本月末日を以て打切る事を相談す。

九月二十五日 採點全部を終り、修了生の試験割當をなす卒業成績を書かせる事。修了式に新聞記者(朝日、日々、讀賣、中外)其他御世話になる人々に招待状を出す事を手配す。

九月卅日 原口きよの委員第二回費用として、金參百圓を寄附せらる。感謝の至りなり。

十月一日 大倉電機重役増林氏求人につき來館。

十月四日 第二回生入試を午前九時より行ふ。來館者九名習字、線描、口頭試問を行ひ全部合格、尙三名入所の豫定、加藤セチ氏より分折科教授要目を調査し送らる、同氏御多忙中熱心な援助をたまはり感謝に堪へず各會社より書面を以て、或は人事課の人來館の上、修了生の求人申込殺到其數十倍に達す。

求人官廳會社の重なるもの。

帝大航空研究所、三菱重工株式會社、理化學研究所、陸軍技術本部、東京自動車株式會社、日本無線電氣株式會社、東京光學株式會社、石川島造船所、池貝鐵工所、沖電氣株式會社、滿洲航空株式會社東京出張所、立川飛行機株式會社、金門商會、富士飛行機株式會社、氣象臺、新潟鐵工所等

十月七日 第二回生入所式を行ふ總計十二名

十月十日 北辰に見學に行く  
(松村、奥井附添ふ)  
松村文部省に學校用地の事につき出頭す

十月十二日 午前松村文部省に出頭國有地借用の件につき書類の點檢を受く、午後讀賣新聞の神田正雄氏來校せらる

十月十四日 松村稅務監督局に午前九時出頭十一時迄國有財産係長石原氏に懇談したれど無償借用は到底出來ずせひ買ひ求めてくれといはれる要は四十二萬圓の大金をだし銀行又は信託に預けてゐる櫻蔭會内部の共濟會を何故仕事に協力させぬか内部を協力させずに國家に協力せよとは如何に大切な國家的事業なりとも間違なり大藏省としては出來る

限り他に賣却するより安く拂下げる考へはあれどとにかく無償は困るとの事なり  
十月十五日 今一度大藏省に了解をうけるため三十六通の書類の調製に松村終日奔走す

十月十四日 生徒大部分理化學研究所に見學に行く但し東京光學株式會社に就職希望の四人奥井講師に連れられ行く通勤の困難より四人とも就職断はる

十月十五日 一部沖電氣に見學に奥井講師附添ひ行く一部は上野に工業總力展覽會に行く

十月十六日 委員會

出席者

セチ

中井

協議事項

一、第一回修了式につき打合せ

二、地所につき報告 共濟會主事を招待して交渉す

十二月二十二日 一泊の豫定にて第一回生に奥井、松村附添ひ五湖めぐりをなし十三日東京驛に歸着す

十月二十四日 斯波、佐々木長谷川、中井、沼澤、松村出勤、式の準備をなす

十月廿五日 豫定通り修了式を行ふ

役員出席者

來賓 下村校長、原口氏、中外朝日兩新聞社員  
父兄 新井、佐藤  
修了生三十六人  
就職決定の者  
新井久子、新山愛子、栗山靜江  
東京帝國大學附屬航空研

就職決定のもの  
三菱重工業株式會社  
就職せざるもの  
下村校長より懇ろなる祝詞を賜はり山崎光子委員自筆の修了證書をたまはり斯波松村兩委員の訓辭報告をな

し齋藤時代、生徒總代として謝辭を述べ、一同感激裡に式を終る、午後二時より謝恩會あり  
十月二十六日 松村、航空研究所に新井、新山、栗山を伴ひ行く

十月二十八日 松村、高等工業學校に清家校長を誘ひ三時間に渡り製圖論をきく。尙齋藤時代の指導を依頼し校長自著の書數冊をたまはり歸る

十月卅一日 十月初旬より新聞に當養成所の事を記さる事數回、急に入所希望者申込あり  
女子技術員櫻蔭會で養成

工業新聞  
教養ある興亞の工業女性  
日刊工業  
娘心は火の如く女エンヂニヤ初巢立 都新聞  
科學する女性群 朝日新聞  
颯爽と女子製圖員

中外其他讀賣 等  
奥井、斯波、沼澤委員相談の結果再募集を發表せらる

十一月一日 十月中第一回、第二回共に半日授業なりしを本日より終日授業とす。  
田卷氏家庭の都合により退學す。齋藤時代氏助手として本月より就職す

十一月四日 橋本、富田、松村出勤。再募集生五名を口

頭試問し全部入所を許可す  
第一回生の御世話になりし謝禮に作樂會及體操科教室に淺見、橋本兩委員出かける

十一月十二日 沼澤委員齋藤氏を伴ひ校長先生に紹介せらる

十一月十四日 松村、齋藤氏の勉學につき隣保館にゆく  
十一月十九日 求人ありしも就職者なかりし會社へ松村櫻蔭會の名にて斷り狀出す

十一月二十五日 戸倉教授に松村面會體操の事を願ひ、承諾あり江崎氏、佐藤氏行啓後より始める事を承諾せらる

十二月五日 松村、中井、清家先生に顧問を依頼旁々書籍寄附の御禮に行く

十二月九日 三菱より求人來るも佐々木の方より断はる今日より月火第三時に體操授業あり

十二月十日 奥井、松村來年度(一ヶ年)の製圖科要目を作成す

十二月十二日 松村、実倉を伴ひ三菱重工業株式會社に行く。尙北辰電氣株式會社に行き修了生の勤務狀態をきき、寄附を依頼して歸る

十二月十三日 清家先生著文字篇を生徒に練習せしむ

十二月十五日 第一期生の會

合あり奥井、服部、松村出席す  
十二月十六日 委員會

協議事項

一、來年度募集要項  
一、名稱 従前通り  
一、期限 一ケ年  
一、内容 來年度内に學校となりうる豫定のもとに從來より程度を高くす。認可後學校と直になりうる様にする事其細目左の(枠内)如し  
感想  
十二月十五日 北辰に修了生就職状態を聞きに行く技師五名出席各受持について談話あり

修身及公民	一學期(十五週)				二學期(十五週)				三學期(十週)			
	體操	三(角)角	三(角)角	三(角)角	體操	三(角)角	三(角)角	三(角)角	體操	三(角)角	三(角)角	三(角)角
設計製圖及實習	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二
應用力學及材料強弱	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二
工業大意、原動機	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三
工業要項	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二
電氣工學	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二
計	三六	三六	三六	三六	三六	三六	三六	三六	三六	三六	三六	三六

一、勤務状態及び技術申分なく希望する處は健康にて永年勤務を望む」と優秀者を使用する一技師の話  
二、養成所の修了生を得て女性といふものを見なほした大變研究的で勉強家でありつゝ込んで聞かれるので若い技師は時にタチ／＼だつたりする  
三、二三週間に普通女子新社員四五ヶ月かゝる事を覚えてくれた(二三)は修了者全體へ對する全技師の一致した觀察  
四、なほ此上ながら引込思案にならぬ様何事も徹底的に覺える習慣をつくつて積極的に活動する様仕込んでくれ  
五、美濃紙寫圖の練習を希望する等

僅か半年の教育到底世間の期待にそひ得ぬのではないかと日夜常に案じてゐた私にはほんとうに／＼うれしい知らせであつた。殊に技術の問題より人格上、勤務上好評を得たのは櫻蔭會が開催した旨を達しえた心地がしたどうか一層徳をみがいてやがては工場のリーダーとなつてくれる事を祈つて止まない。  
其他富士飛行機或は理研においても勤務状態格別よき由話があつた。朝は人より十五分早く出で夕は人より十五分おそく退社せよ、手をこまぬいて筆舌を弄する人は今日の日本にいらぬ、言行一致よく働けよ、人を超越する事を考へるに及ばぬ人に超越されぬ様絶えず勉強せよ、忠實にせよ一分一厘のちがひも仕事では大きな手ぬかりとなるから、と教へた事がかく純真な娘心に實行に移された事は何と有りたいことではないか。

櫻蔭女子高等工學院設立募金狀況

募金委員

七月の總會で、私共の紀元二千六百年の紀念事業として女子の工業學校設立の事が満場一致で可決され、それが九月の會報で會員一般に傳へられますと、直ちに會員から金

募金委員となり、それぞれ有力者の個別訪問を始め暮の廿八、廿九日と申すに歩きまわり努力いたして居ります。即ち第一會員の熱誠、第二有力者の後援といふことをたて前

女子工業學校創立費への御寄附

今村氏は明治十九卒松田敏子氏の、片岡氏は大正七卒加藤セチ氏の御盡力により本會の本事業を賛し御寄附されました。御芳志を感謝致します。

皇后陛下我等の母校へ行啓遊ばさる

皇后陛下には女子教育獎勵の畏き思召から昭和十五年十二月三日我等が母校東京女子高等師範學校へ行啓遊ばされた。時恰も紀元二千六百年、教育勅語頒發五十周年に當り皇后陛下行啓の有難き御内沙汰を戴いた母校は光榮に感激し下村校長をはじめ教職員、生徒、兒童幼兒一同眞心籠めて只管其の日をお待ち申し上げた。  
いよ／＼三日、皇后陛下には午前九時四十分保科女官長陪乘、廣幅皇后宮大夫、入江行啓主務官等供奉の略式自動車兩簿にて、宮城御出門、同十時國母陛下を迎へ奉る光榮として推進いたして居りますどうか共力の實を擧げて美しき目的達成の日を慶びたいと御同様祈念いたす次第であります。  
以上現況御報告旁御願ひ迄

に職員生徒三千の深い感激が漲つてゐる母校へ着御あらせられた。  
下村校長の御先導にて一旦便殿に入御、橋田文相、金光厚相、本庄軍事保護院總裁、下村校長以下教授十五氏に拜調仰せ附けられた後、同十時十六分全職員、全生徒兒童がお待ち申し上げる微音堂に出御あらせられた。陛下には清楚なる洋装を召させられ、御仁慈に溢れさせ給ふ御姿は有難くも神々しく拜せられた。君が代奉唱の後、下村校長より東京女子高等師範學校概況並に東京特設中等教員養成所概況を言上。次いで陛下には同校長の御案内で校内を御巡覽遊ばされた。幼稚園に御歩を運ばせ給ふ御途中、特に許

されて御通路に御待ち申し上げた養成所寄宿舎(貞秀寮)に起居せる勇士の遺児等の上に長くも御目を注がせ給ひ御慈愛深き御會釋を賜はつた。

幼稚園では自由畫(慰問繪はがき)、粘土製作(紙粘土利用)、空箱利用の手工、唱歌遊戯、砂場遊びなど、いたいたけな幼児が胸一ぱいの感激をこめて演ずる愛らしき動作を御感深く御覽遊ばされた。續いて小學校では體鍊科武道(劍道・薙刀)、國民科國語、理數科、藝能科工作(飛行機・落下傘)、藝能科音楽等、既に國民學校の課程通りに國民學校が企圖する新しい教材を以て實施されてゐる各科授業を御覽遊ばされた。女學校では裁縫の實習(大裁單長著女物仕立直し)、教育(新體制に於ける家庭教育)、數學(幾何)、國語(作文の朗讀と批評)の各授業、籠球・排球・庭球等の各競技を御覽遊ばされた。

女學校から御退出の際、特設中等教員養成所の未亡人六十二名は特に許されて列立奉拜申し上げた。次いで御晝餐の後、續いて本校及び特設中等教員養成所の學習を御巡覽遊ばされた。其の台覽に供した課業の概要は特に別項に掲げることとする。

かくて一旦御休憩の後、午

後二時十五分寄宿舎に御立寄り遊ばされ、露臺から運動場にて演ずる體育課生徒の體操本校生徒の薙刀、本校養成所女學校生徒及び小學校女兒の遊戯(奉祝國民歌「紀元二千六百年」)を御覽遊ばされ、午後三時全校職員生徒一同恐懼感激して奉送申し上げる裡に、皇后陛下には御機嫌麗はしく還啓遊ばされた。

我等の母校は創立の初より皇室の御恩寵を忝うすること洵に深きものがある。今度亦更に此の御恩恵に浴し奉る。母校の光榮は固より我等卒業生一同も亦恐懼感激に堪へない次第である。此の内外多端にして重大なる時局に際し我等卒業生は愈々一致協力、我が國女子教育の爲めに盡瘁して、限りなき皇恩の萬分の一に報い奉らんことを期さなければならぬ。

本校・養成所授業の概要  
地 理 文科第四學年  
教授 飯本 信之  
海峽植民地  
英領海峽植民地の自然及び文化景域を説述し、特に英國東亞發展の支障點としてのシンガポールの島の有つ位置の重要性を知らしめ、以て日本を中心としたる大東亞共榮圈樹立とシンガポールの島との不可分の關係を認識せしめる。

教育 文科第三學年  
教授 石川 謙  
近世日本に於ける子女教育の發達  
我が國の女子教育は、江戸時代に於て、その對象が廣く庶民階層にまで擴大し、その内容が、稍々高度の知識・技能に關する教科をも包含するやうになつた。然しその主眼とした所は躰け・嗜みの名に呼ばれた情操の陶冶と訓育とであつた。かうした時代的な教育の特質を、當時に使用した教科書を教材として實證的に説明する。  
植物實驗  
教授 保井 コノ  
教授 大槻 虎男  
一 澱粉に關する顯微鏡的實驗  
理科第三學年  
植物・動物選修  
内地産澱粉採取の主なる原料植物サツマイモ・クズ・ジャガタライモ等の細胞内に澱粉が含まれて居る状態を觀察させ、同時にそれらの澱粉に就いて顯微鏡によつて大さの測定法を實習せしむる。  
二 生物測定に關する實習  
理科第四學年  
植物・動物選修  
ジャガタライモから直接にとつた澱粉と市場から得た其の製品との大さの測定比較せしめる。  
音樂 體育科第二・三・四學年  
指揮者 奥田 良三  
助教 豊増 昇

女學三部合唱  
「歌の殿堂」  
(歌劇「ダンホイザー」中の合唱より)  
ワグナー作曲  
高橋信夫作詞  
歡喜ぞいま額く、  
藝術と平和充つる殿堂に。  
謳はれし君主、  
永久に幸あれや。

數學 理科第四學年  
數學選修  
教授 黒田 成勝  
モヂュラル變換に就いて  
モヂュラル變換で複素數平面が變換を受ける状態を、圖によつて直觀的に説明し、モヂュラル變換と連分數との關係を述べ、實軸上に於ては連分數の收斂の問題が生ずるに反し、複素數平面では變換の基本區域が決定されることを理解せしめる。更にピカル群に對しては複素數平面上で收斂の問題を生じ、次元の更に高い空間に於ては基本區域が決定せられることを知らしめる。  
化學 理科第四學年  
物理・化學選修  
教授 林 太郎  
薄膜の構造に就いて  
水に溶解難い液體を水面に落すとき、薄い膜となつて水面に擴がる場合の條件を吟味し、薄膜となつて擴がらうとする力を表はす表面壓測定の方法を説明する。次に薄膜の面積を次第に變じて測定した表面壓變化の狀況から、薄膜中の分子の配列状態、斷面積・長さ等につき推定し、薄膜面の縮小に伴つて、氣體膜・液體膜・固體膜等の性質を異にする状態となる事を述べる。  
國語 文科第二學年  
教授 莊田安太郎  
清少納言枕草子「草の庵」の一段  
頭中將齊信の袖几帳「蘭省花時錦帳下」に對する「草の庵を誰かたづねむ」の應酬一齊信等の讚歌一兩陛下の御嘉賞  
清少納言の簡勁にして印象的な筆致を會得し味ははしめると共に其の勝氣な性格、一觸即發の機智、施いては平安期の最も洗練せられた趣味生活の一斷面を窺はしめる。  
生物實習 家事科  
第一學年二ノ組  
教授 菊池 健三  
人體寄生蟲卵の檢鏡  
人體寄生蟲の檢鏡をなすには、各種寄生蟲卵の特徴を知るを要するを以て、蛔蟲・十二指腸蟲・鞭蟲・蟯蟲・肝チストマ等の卵を檢鏡せしめ、其の形態を描寫させる。  
衣類整理實習  
養成所家事裁縫科  
第二學年  
助教 瀧浦さだ  
現下に於ける女學生服の整理  
(一) 材料生地の鑑別  
女學生服地として用ひられる交織物・ステープルファイバ織物・人造絹絲織物・絹織物・毛織物・綿織物等の纖維の鑑別實驗を行はしめる。

(二) 生地に適する整理  
鑑別の結果に基き、各種織物に適切なる整理法(洗濯・仕上・保存)の實習を行はしめる。  
家事科第四學年  
家事選修  
教授 西野みよし  
時局下に於ける食物  
(一) 小學兒童の辨當  
小學兒童の辨當に就いて榮養の研究をなさしめ、榮養價頭と榮養蒸パンとを實習せしめ、これらは榮養十分なること、食品が合理的に使用せられて居ること、その調理容易なることを知らしめる。  
(二) 小學兒童のおやつ  
おやつは小學兒童には食量の一部分なるが故に、榮養を考慮し、且つ味・大さ・形等兒童の嗜好に適するものなることを要する。本時に於ては家庭に於て容易に作り得られる甘藷菓子・落花生菓子を實習せしめる。  
(三) 一般家庭用向き主食食物  
一 椀の中に、榮養上必要なる各種の成分を含む蕎麥・すいとん・芋入煮込うどんを實習せしめ、材料と燃料との節約の點より見るも價値ある食物なることを知らしめる。  
裁縫實習 家事科第四學年  
裁縫選修  
教授 成田 順  
國民服及び婦人作業服の研究  
並に婦人服の製作  
(一) 國民服  
皇紀二千六百年を期して制定

斷面積・長さ等につき推定し、薄膜面の縮小に伴つて、氣體膜・液體膜・固體膜等の性質を異にする状態となる事を述べる。  
國語 文科第二學年  
教授 莊田安太郎  
清少納言枕草子「草の庵」の一段  
頭中將齊信の袖几帳「蘭省花時錦帳下」に對する「草の庵を誰かたづねむ」の應酬一齊信等の讚歌一兩陛下の御嘉賞  
清少納言の簡勁にして印象的な筆致を會得し味ははしめると共に其の勝氣な性格、一觸即發の機智、施いては平安期の最も洗練せられた趣味生活の一斷面を窺はしめる。  
生物實習 家事科  
第一學年二ノ組  
教授 菊池 健三  
人體寄生蟲卵の檢鏡  
人體寄生蟲の檢鏡をなすには、各種寄生蟲卵の特徴を知るを要するを以て、蛔蟲・十二指腸蟲・鞭蟲・蟯蟲・肝チストマ等の卵を檢鏡せしめ、其の形態を描寫させる。  
衣類整理實習  
養成所家事裁縫科  
第二學年  
助教 瀧浦さだ  
現下に於ける女學生服の整理  
(一) 材料生地の鑑別  
女學生服地として用ひられる交織物・ステープルファイバ織物・人造絹絲織物・絹織物・毛織物・綿織物等の纖維の鑑別實驗を行はしめる。

(二) 生地に適する整理  
鑑別の結果に基き、各種織物に適切なる整理法(洗濯・仕上・保存)の實習を行はしめる。  
家事科第四學年  
家事選修  
教授 西野みよし  
時局下に於ける食物  
(一) 小學兒童の辨當  
小學兒童の辨當に就いて榮養の研究をなさしめ、榮養價頭と榮養蒸パンとを實習せしめ、これらは榮養十分なること、食品が合理的に使用せられて居ること、その調理容易なることを知らしめる。  
(二) 小學兒童のおやつ  
おやつは小學兒童には食量の一部分なるが故に、榮養を考慮し、且つ味・大さ・形等兒童の嗜好に適するものなることを要する。本時に於ては家庭に於て容易に作り得られる甘藷菓子・落花生菓子を實習せしめる。  
(三) 一般家庭用向き主食食物  
一 椀の中に、榮養上必要なる各種の成分を含む蕎麥・すいとん・芋入煮込うどんを實習せしめ、材料と燃料との節約の點より見るも價値ある食物なることを知らしめる。  
裁縫實習 家事科第四學年  
裁縫選修  
教授 成田 順  
國民服及び婦人作業服の研究  
並に婦人服の製作  
(一) 國民服  
皇紀二千六百年を期して制定

せられたる國民服(男子)につき、其の實物及び型紙を調査せしめ、且冊子「正しき國民服の作り方」を資料として其の型・色・地質・裁方・縫方等の研究をなされしめ、今次制定の服に對する正しき理解を得しめる。

(二) 婦人作業服  
婦人の作業服に關する各方面よりの研究調査を基礎としてそれぞれの場合に最も適當なる作業服の考案表現につき研究せしめる。

(三) 婦人服  
既習教材婦人用コート・スーツ・アフターヌンドレスの中に其の孰れか一種を選択せしめ、再びこれを實習せしめる。其の材料はなるべく古き物を使用せしめ、力めてそれらの利用更生を工夫せしめる。

裁縫實習 養成所裁縫科 第一學年

助教授 石田はる

大裁縫羽織(女物・男物)

本教材は基本的に取扱ふのであるから、材料はこれを銘仙程度とし、仕立方は女物は「紵紵・各部四つ縫仕立」にし、男物は技巧を要する「衿袋附・袖開き附」の方法による。しかして本時は、女物では衿先の始末と衿紵の所とを、男物では、前下り縫と衿袋附の所とを實習せしめる。なほ實習材料はなるべく仕立直し物を用ひしめることとする。

五 體操及び遊戯

(天候の都合により運動場又は體育館)

一 體操 體育科生徒 教授 佐々木等

- (一) 上下肢の運動
  - (二) 上肢の運動
  - (三) 胸の運動
  - (四) 上下肢の運動
  - (五) 體側轉運動
  - (六) 體側屈の運動
  - (七) 背腹の運動
  - (八) 腹の運動
  - (九) 平均運動
  - (十) 跳躍運動
  - (十一) 上下肢の運動
  - (十二) 呼吸運動
- 二 薙刀 本校生徒 講師 山内 禎子
- 三 行進遊戯 (本校・養成所・附屬高女生徒・附屬小學校・女兒) 教授 戸倉 ハル
- 奉祝國民歌「紀元二千六百年」

役員會記事

主事會

十二月九日(月) 自午後六時 至午後九時

一、出席者

一、協議

- 1、新年懇親會の件
- 2、教育功勞者として表彰を受けられし會員に祝意を表するの件
- 3、年末慰勞の件、豫算通り實行に決す
- 4、本校生徒一名に學資貸與の件可決

一、報告

1、櫻蔭會史の光榮について  
皇后陛下十二月三日日本校へ行啓の際、本校よりの御持歸品の中に櫻蔭會史を御加へいたゞきたる事。  
皇太后陛下には十二月九日下村校長を経て献上の手續をお取り頂きたる事の報告あり。  
この重なる光榮は櫻蔭會史の巻頭に掲載し奉ることになす。

2、櫻蔭女子工業學校設立の其後の状況に關して

會計報告

一、會費

金壹千七拾壹圓也

自昭和十五年八月一日 至昭和十五年十二月卅日

一、終身會費

金貳百六拾九圓也

自昭和十五年八月一日 至昭和十五年十二月卅日

教育功勞者として表彰を受けられし會員

○教育勅語煥發五十周年記念三十年以上勤績者として表彰せられたる會員

- 一、本年マデ五十年間官公私立學校教職員タリ又ハタリシ者
- 二、同上年間教育ニ關係アル事務ニ從事シ又ハ從事シタル者

明治二〇小 客員

同

三、明治二十三年十月三十日以後ニ於テ教育事業ニ對シ一時ニ金壹萬圓以上又ハ數次ニ金拾萬圓以上ニ達スル金品ヲ寄附シタル者

明治二六高 十文字こと  
同 四一理 平野 ませ

○二十五年以上勤績者

櫻蔭共濟會記事

本會は我等の客員會員の内に、かくも多數の被表彰者を有する光榮を喜び、謹んで各位が積年の教育報國の成果に敬意を表し、その功勞に對し萬腔の感謝を捧げ、併せて猶一層壽齡を全ふして興國の礎を培ひ給はむ事を切に希望いたします。

○定例役員會

昭和十五年度 第七回

昭和十五年十一月十二日 出席者

理事

監事

一、十月分庶務會計報告

二、會計監査 十月分

三、協議

一、新入會員承認の件

○定例役員會 昭和十五年度

第八回

昭和十五年十二月十日

出席者

理事

監事

- 一、十一月分庶務會計報告
  - 二、會計監査 十一月分
  - 三、協議
- 一、櫻蔭會への提供金及會報印刷費の後半額分送金の件

會員計報

明四四  
明一六  
明一二

右病氣の爲め逝去せられたる本會は謹んで哀悼の意を表し細則第五條により右の通り弔慰金を贈呈致しました

社團 櫻蔭 共濟會

女子教育發祥地記念建碑について

全櫻蔭會員に御願

吉村千鶴子

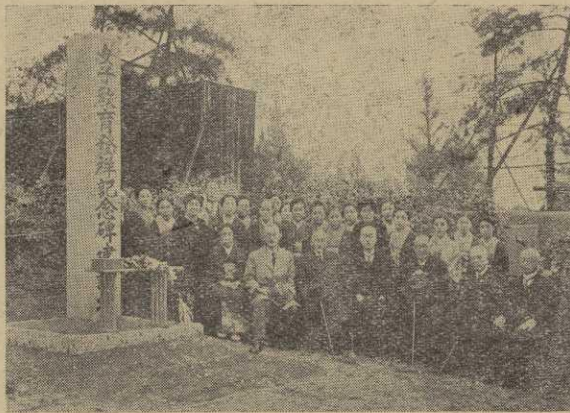
悠久二千六百年を迎へまして御同様萬邦無比の皇國に生れましたことを感謝し奉り各自の職域において御奉公の至誠を捧げ奉らんことを誓願申上げる次第で御座います。 叙皇紀二千六百年の記念事業の一つとして最も重要なことであつて然も忘れられんとして居りました舊母校敷地跡、

一、年末手當の件  
○共濟會入會者氏名

した。伊東、下村、島峯、森岡の各顧問先生竹島先生も御列席下さいました。

右につき早速昨年末までに御贖金下さつた會員もあまりで御座います。折柄櫻蔭會として女子工業學校御設立の事もあり、何かと御出費御多端の際實に恐縮千萬ながらこの建碑のことは御承知の如く

をり、又女子大學の設立も許可されるまでに至りました。女子教育の前途誠に洋々たるものがあつて、若い女性も多幸であります。かく我が國女子教育の隆昌を來たしました根元は、申すまでもなく明治八年畏くも昭憲皇太后の母校に下し賜はりました令旨により奉ること、拜察し奉ります。



日九廿月一十年百六十二紀皇  
つ建を之日念記の賜下御旨令

『女子教育ノ根柢ヲ培益セン爲メ(中略)女教ノ美果ヲシテ全國ニ蕃結スルヲ觀ンコトヲ』との有難い御ことば、今や實現をみつゝあるのであります。かく考へましては苟くも女子教育をうけた全國莫大の數に昇る女性として誰か感謝

我が國女子教育の根本に培ひ將來女子教育の振興に資する頗る意義深いものがあつて女子教育關係者の責任のやうにも考へられます。 今や全國に於て年々女學校の卒業者が約五萬人を數へこれを既往將來に考へますと莫大の數字を示すでありませう。女子教育機關も二千校に及び漸次増加の一途を辿つて

奉恩の念に燃えない人があつてませうか、必ずやこの擧に賛同を惜まれないと信じます。 就中直接に最も多く皇室と國家の御高恩をうけました有力な櫻蔭會員と母校出身者が中心となり、全國女子教育に關係の深い方々と協力盡瘁せられるならば、記念建碑會に於ける豫算五萬圓は易々とし得られるものと存じます。

要するに熱意と努力によることとであります。

全櫻蔭會の皆様に御願仕ります。何卒此の際御一人残らず御奮發御贖金下さいませ、そして御自身の御出資は固より、御家族、御縁故及び御在職の方々、は學校長、教職員、校友會の方々をも動かされ、記念建碑會々費として御贖金下さるやう御熱誠ある御盡力を仰ぎ一日も早く本格的記念碑の完遂されますやうひたすら願致します。

『一名一枚』の名刺について特に御在職の會員に御願

吉村千鶴子

元來私共は主唱致しました當初から何とかして此の記念碑をば多く普通世間に見るやうな單なる記念碑たらしめず謂はゞ一種の神格化した尊嚴なものと致したく考へて居りました。其の意味から致しまして碑の上部中央にある八稜鏡と曲玉とは即ち神様の象徴であり同時に女子教育の發祥地であり同時に女子教育の發祥地であるもの、表象でもあるとは設計者工學博士伊東忠太先生の御言葉で御座います。而もこれを一層意義深いものに致しますために『一名一枚』の名刺のことが考へられたので

御座います。

一、『一名一枚』の名刺には全國各女學校の學生、生徒有志の人々に

昭憲皇太后の御令旨・御歌などの一字或は一句又は全文を數人で書くか、或は又別に至心感謝の文字を選定して書いてもよいこと。

刺名  
氏名

氏名は脇に小さく書きま

名刺用として尊貴な「料紙」が澤山用意してあります。

一、この「料紙」は最も鄭重に取扱ひ且永久保存の方法を講じ、記念碑の下に埋藏致します。此の多數女性の赤誠が永く我が國女子教育發祥地に對する感謝となり又護りの力ともなります次第と考へられます。

一、このことは昨年印刷物として(詳細な方法)東京市は固より全國の各女學校、專門學校、女子師範學校各學校長先生に御郵送御願ひ申上げてあります。

一、既に御贊同を將た學校もあり、記名申込生徒數は三萬枚に達して居りますが、會としては十萬枚—二十萬枚(用意出來ます)を希望して居ります。

一、東京府市及び全國各女學校に御在職の櫻蔭會員の皆様は右御諒承の上校長先生の御賛同、記名希望生徒数の御申込みを御願ひ下さいませ。(名刺取扱所 東京市淀橋區百人町三ノ二八五 吉村方女子明徳會)

一、申込期日は本年五月一杯で結構であります。

支部だより

富山縣支部新設

代表(明治四十年卒)

長澤 ヨシ氏

昭和十四年度仙臺支部行事の一端

六月七日

母校教授水野先生、成田先生の文部省綜合視察の視察員として宮城縣下教育狀況視察のため御來仙を機と致し歓迎會を開催す。兩先生の外來會者二十一名。自己紹介の後、先生方より母校の御様子につき種々御話を伺ひ談話に花を咲かせ八時半頃散會す。

(青葉に於て)

六月十五日

市内女子中等學校家事、裁縫受持教員の希望により、本會が主催となり、成田先生を御招きして裁縫科に關する座談會を開きたるところ、先生

には畫の御視察の御疲れにもかゝらず御出で下され、種々有益なる御話をお聞かせ下さる。九時頃名残りを惜しみつゝ散會す。(第二高女作法室に於て)

八月二十四日

成田先生には宮城縣教育會主催の家事、裁縫講習會の講師として御來仙、女專寄宿舎に御宿泊下されたるを機として、第二回目の歓迎茶話會を開く。出席者十七名、先生を圍んで時局談や母校の御話を伺ひ九時頃散會す。

○當支部編纂の「防毒具の裁方、縫ひ方」のパンフレットに就て

一、當支部編纂の「防毒具の裁方、縫ひ方」のパンフレットは、仙臺區聯隊區司令部にて國防婦人會へ採用せられ、市内の女專を始め縣立、私立の各女學校の殆ど全生徒に採用せらる。

一、同パンフレットを市内各警防團、女子青年團にも多數寄贈して大いに感謝さる。

一、パンフレットの賣上代の一部を以て、國防費の献金、護國神社建築費の寄進をなす。(第二部當番幹事記)

以上

松本正子さん歸朝

斯波 安

會員松本正子さんが婦人服裝其他裝飾美術に關する御研究の爲め、世界藝術の中心巴里に農商務省留學生として派遣せられ、「留學三ヶ年の月日は未だ足が巴里の地にびつたり着かない中に過ぎ去つてしまつた、まだく

研究したいことが山ほどある、その中で一番勉強したいのは繪、たつた一枚でもよいから氣に入つた繪を描きたい」と念願せられて滯佛實に十八年、巴里の本場で一方ならぬ苦勞の中に精進をつづけられ、今度戰亂中に多くの作品を携へて無事に歸朝された。最近その滯歐作品の一部を銀座、日動畫廊に展覽會を開催されて發表になつた。

山本鼎氏は

松本さんの油繪は迫力がある、婦人の油繪は概して才氣走つた物が多く、氣が利いてあつさりする例だが、此人のは別だ、四つに取組むだもの程佳作となつてお



街のあゝのレバヤキ

る。多くはモンマルトル(巴里居住地)風景の寫生であるが四五點ある花の繪がなか／＼よろしい、色調にも筆致にも發展性を僕は感受する。血液型がルドンなどと同じかも知れない。勿論ルドンの仕事とは比較すべきでないが、松本さんの素質には何か非凡なるものがある、それは感覺にだか、

寄書

といつて居られる。専門家の山本氏にしてこの言がある位。我が會員中にかゝる藝術家を有することは誇りである。皆様と共に松本さんの健在を祝し將來の御發展を祈る次第である。

母校に皇后陛下を  
迎へ奉りて

明治四三、理

沼澤 孝

神さよ云ふ言の葉を まのあたり  
きさいの宮に あふぐ尊とさ  
薦たけし 大御姿の 徽音堂に  
入御ましませは 瑞氣あふるる  
すべらきを神といやする 大やま  
やま島根の くに民ぞわれ等  
臺灣の技を陪觀して  
渾身の力をこめて 薙刀を  
つかふ乙女等 我等の妹ぞ  
かちはだし 大地を強く ふらしめて  
長刀ふるふ 乙女はしきや  
八絛を 一字にすべき みことのり  
女としてしも ひと日忘れじ

漁村曙

明治四三、理

角田 貞子

大漁のふねを迎へて 浦人の  
どよめきあへる 朝ぼらけかな

漁村曙

明治四五、文

上野 トメ

潮ざえに聲を合せて隣組の濱  
に地引網ひく  
いさり舟磯に送りて妻等子等拜  
む東海の空稍明し  
浦へ行く汽車の窓邊にほの明け  
て繪のごとも見ゆる漁夫の家並  
小田原の荒久の磯に旅寢して朝  
覺めに聞く大漁の聲

清見寺鐘あかつきに響きつつ興津の濱のいよよどよめく

大和をみな

明四五、理山本り

- 一、肇國二千六百年 皇國の生命承けつぎて 淨くやさしくはた強く 大和をみなは育ち來つ
二、平和のために矛とりて 興亞の理想一すぢに すゝむ勇士の統後にぞ 婦人護國の任重し
三、家守るつとめ搖ぎなく 國の礎かためつゝ 長期にそなへわが夫も 子をも雄々しく大陸へ
四、久遠のいさを華と咲く 譽れの家門守びて 深き感謝となくさめを さゝげつ助けはげまなむ
五、國を擧げての赤誠に 生きる今なり歡起して 國策まもり産業に 資源愛護にいそしまむ
六、總力戦に召されたる 大和をみな誇りもて 堅忍持久いさましく ともに進まむ同胞よ

滿洲視察斷片

明治四二、文 魚住しげの

渡滿經緯。 皇紀二千六百年慶祝を機とし 滿洲國防婦人會より、日滿共同 防衛並に東亞新秩序建設に資す

る爲、大日本國防婦人會々員の 滿洲國視察につき鄭重なる御招 待がありましたので、同會では 陸軍省の許可を得て、全國師管 本郷より代表十名(内朝鮮貴族 一名)を選定し、滿洲國視察並 に日滿兩部隊及日滿陸海軍病院 慰問の爲派遣せられる事とな り、私も同會に關係して居りま す事として其の一員に加へて下さ ったので御座います。右代表者 中に明治三十三年の櫻蔭會員草 川よし姉の居られました事は百 萬の味方を得た様な心地がして 此上もない仕合せでせう。尙東 京代表大瀨菊子姉は附屬高女專 攻科の出身で御座いました。

較的進歩せる新京、哈爾濱等に 止るを遺憾とし、奥地迄もよく よく視察し滿洲の眞相を洞察す べしとて種々配慮せられ、國境 方面の視察を許された事は誠に 仕合せであつたと存じます。

視察斷片。 新京では關東軍司令部、國務 院、祭祀府、治安部、協和會本 部、新京特別市公署等官衙訪 問、國務總理張景惠閣下を始め 各高官より鄭重なる御挨拶やお 言葉をお聞き大に面目を施しまし た。殊に祭祀府總裁橋本中将閣 下より滿洲建國精神の講話を拜 聴、協和會本部にては皆川、恒 吉兩部長閣下より協和會の説明 關屋新京副市長より新京市建設 計畫を聞き、その遠大なる建國 の眞髓に觸れ、小さな私達まで 急に背のびした様な心持が致し ました。九月十九日建國神廟の 初の祭典には、皇帝陛下臨幸の 式場に特に許されて、大日本國 防婦人會代表として參列の光榮 に浴し大に感激致しました。神 廟は 皇帝陛下第二回御訪日の 際伊勢大廟に御參拜御歸國後建 國の祭神として我 皇祖天照大 神を迎へ祭られた貴い廟であり ます。實に滿洲建國は八紘一宇 の大理想の大陸に於ける顯現で あり實踐である事を、如實に感 得した次第であります。

奥地蒙古民族の包の生活、放牧 狀況、大連の露天市場に於ける 下層民生活の狀況、日鮮滿漢蒙 露(白系)各民族協和狀況等の 視察見學によつて百聞一見に如 かず、實に今迄の滿洲に對する 認識の足らざりしを痛感したわ けて御座います。

日本精神の顯現。各地至る所 日本人の在る所必ず神社あり、 在住日本人は誰も、此神社が なくては淋しくて落ちつけな いと云ひます。神社には必ず 天照大神と明治天皇とを奉祀して あります。我大和民族の敬神崇 祖の念の厚き事、忠孝一本の日 本精神のあらはれである事を、 各神社に於てしみじみと仰ぎ見 るので御座いました。新京若早 々新京神社に參拜した時、何故 とは知らず熱い涙がこみ上げて 來て止め度があつたあの氣持 は説明し得ません。又曠野の果 國境の方面、山の中にも部隊の ある所菊花御紋章の燦然と光り 輝いて居るのを見上げる時の感 激、開拓村に於て日本の祭日に 國旗の風にひらめいて居るのを見上げた時の感激

多同胞の大なる犠牲、滿洲建國 の貴いその礎石に熱い涙を注 ぎ、滿洲里や黒河の國境を見學 し、各地の戦跡を訪ねて日滿共 同防衛の緊要さをひしひしと痛 感、各部隊各病院の慰問には深 き感謝と感激の涙があふれて、 就後國民の責任の重大さを身に しみて感じて來たので御座いま す。ノモンハン事件の時の模様 に就てはまだ生々しい體驗を通 して色々に聞かせて戴きました。重傷の爲死んで行く勇士の 意識の消えて行く最後迄呼び續 けるのは「お母さん」と云ふ一 言である事を聞いて母と子との えにしの深き、それ丈に母の責 任の重い事を痛感、實に婦人の 任務は現在許りでなく、將來に かゝつて居ると身の引きしまる 思ひを致しました。女子教育の 大切な事今更申す迄もありません。

日滿提携。滿洲國は今健全な 發育をなしつゝあります。各 地至る所各方面に亘つて逞しい 建設の途上にあります。豊富な 資源を開發する爲、大和民族 の手を待つて居ります。私達は 大のびて行かねばなりません。 大のびて各方面に根強い根を 深く下ろさねばなりません。實 に日本と滿洲との關係は絶対的 のものであります。と同時に日本 は滿洲と有無相通じ長短相補ふ 利用厚生上の必須を感じて居る ものであります。東亞に於ける 日滿華新秩序建設の樞軸は日滿 の一體にあるので御座います。

我國は長い鎖國から解かれた時 歐米各國の文明の進歩に驚き歐 米を先進國として大に尊敬し之 を學び過大に崇拜した傾があつ たのに反し、最も關係の深い隣 國滿洲や支那に對しては餘りに も冷淡で、日滿、日露戦役以後 は特に誇を感じ之を見くびつて 居なかつたでせうか。而し支那 でも滿洲でもその民族は實に勝 れた民族であり、古くから文化 の進んだ國でありました。又非 常に大きな同化力包容力を持つ た粘り強い民族であります。他 に對しては「お母さん」した所はな く大様で交際が上手で、ゆつた りとした大人風があります。殊 に事大思想の國柄でありますから 日滿華提携、東亞新秩序建設 には常に對等の禮を以て互ひに 兄弟の交りを受けねばならぬと思 ひます。その點に就ては上御皇 室に於て、お手本を御示しにな がつて居ります。滿洲國皇帝陛下 の御訪日の際、我が皇室の御優 待御禮遇は如何許りであつたで せうか、對等國として實に御手 あつたもので御座いました。殊 に 皇太后陛下の慈母としての 御愛情を御注ぎ遊ばした數々の 御心盡しは、どんなにか日滿兩 皇室の御上に、國交の上に大き な御力となつて居られる事でせ う。ある時日本國民上下を擧げ て熱誠以て 皇帝を御迎送申上 げたあの精神を持つて東亞新秩 序の建設に邁進せねばなりません。

滿洲に於ける日滿婦人 各地

に於て日滿兩婦人會の座談會、交誼會に出席しましたが、滿洲婦人の圓満なる社交振にはいつも感心させられました。言葉は通じかねてもその雰囲気は實に温くなごやかなものでした。

姉妹打集ひたる心地にて心おきなき語らひをする  
言の葉は通ひかねても温き心と心通ふうれしき

大日本臣民であつて滿洲國人民である日本婦人は全部滿洲婦人と共に滿洲國防婦人會に統一せられてよく活動し洗練せられて居ると思ひました(勿論例外はあります)殊に國境方面に於ては常に第一線にある覺悟を以て、一朝事ある時は最後迄ふみ止つて國防の任に當ると固い決心の色を見せ、滿洲里の如きは鐵道従業員の赤系露人百五十人も在留して居り、白系露人も多數ある事とて防諜に就ては實に細心の注意を拂つて居られました。

滿洲の或知名婦人の言葉の中に  
一、君が代の歌の心を曲げないで眞直に我々に傳へて欲しい  
一、醜業婦を海外に出さない様にして欲しい  
と云ふ事がありました。私達の胸にはぎくりと釘をさされる様な思ひでした。日本は今世界の注視的になつて居るのに、日本婦人の一人でもが白晝酒に酔つ拂つて街をうろつて居る様な事は、それが醜業婦であるからと云ふ説明で辯解にはならな

い、全日本婦人の耻辱であり、ひいては國の名の汚れであると申されるのでした。實に教養ある善良なる日本婦人をどんと送り出さねば日本の根を植ゑつける事は困難であります。拓士と共に健全なる花嫁を送らねばなりません。櫻蔭會の仕事はこゝにも大にある様に思ひます。

最後に同行者の聲を一つ書き添へておきます。女高師卒業の様な最高教養ある方々が何故もつと社會的に活動して下さらないかと云ふ事でした。教職を退いても私達の教養と能力を待つ社會の部面は澤山にありま

先生が最後の二ヶ月餘りをお過しになつた聖ロカの病床におなぐなりになつてから二ヶ月が過ぎてしまひました。そしてそ

岡田先生をおもふ

昭和一五、文

井澤 勝子

の間に去年の様に木犀が香高く咲いては散つていきました。思へば皆が與へられた夏の休をそれ／＼に楽しんでゐる頃、夏をよく病に堪へていらした先生。でも御逝去の一週間ばかり前に、本校時代、いえこの四月迄親しくお接ししたあの先生の御面影と餘りにお變りの先生に御目にかゝつてはまぎ／＼と御健げな御開病の様を思ひ、流れる涙をどうする事も出来ませんでした。

新刊紹介

其の一

水谷 年惠

石井庄司先生著

近代名家俳句鑑賞

附 俳句の作り方

桐蔭石井庄司先生は、母校の教授にして、俳句界の先達である。近代名家の佳什を審細に鑑賞し、幾多の文献を採求して俳句の世界を明示せられたのが本書である。此の書、子規・鳴雪・漱石・碧梧桐・盧子・鬼城の巨匠をはじめ、明治大正昭和諸大家の名吟並に聖戦を繞る苦吟の中から粹を抜いて、懇切透徹、極めて精彩に富んだ解説を試みられ、戦時下に於ける精神的糧として世に提供せられた好著である。

聖戰に五年、臣道實踐以て時艱の克服に金剛力を奮ふべき秋に際し、かゝる良書を繙いて去つて事物の實相本情に觀入するは洵に意義深いことであらう。なほ本書には俳句の作り方が附記されてゐる。此の書が句作に志すものゝ好同伴たる所以が此處にもある。

其の二

曾根 保

漢字法本

眞書 各一冊

草書 各一冊

寫眞石版鮮明肉筆と異ならず、劍堂先生は我が國、漢學史上屈指の大家であり、經學、文章の外に書道、劍道の達人である。されば、先生の深厚なる學殖と高邁なる人格とは遺憾なく此の眞、行、草三箇の法本に發揮され、道氣を經學に養ひ、筆力を劍法に取り、八法七十二勢、融合醇和、以て先生獨得の筆趣となり、高雅遒健の書品と爲つて居る。

漢字法本 眞書 二圓五〇錢  
草書 一圓五〇錢

發行所  
東京市澁谷區幡ヶ谷  
笹塚町二一〇  
振替東京一〇九八九六番  
復古書堂

求人・求職・求婚

勤務先 沼津郊外某軍需品工場  
任務 女工監督及青年學校教師  
待遇 社員として採用、月給八十圓以上百五十圓まで、賞與年二回一回二ヶ月半以上  
年齢 三十歳前後より四十歳前後まで  
條件 堅實にして親切なる人を求む  
出身科 詳細面談(姓名櫻蔭會人事係保留)何科でもよし  
本人 大正四年理科出身者(姓名櫻蔭會人事係保留)  
希望 京濱間、夜間女子青年學校か工員養成所教師  
本人 明治二十數年卒業會員の令嬢  
年齢 二十九歳  
希望 特に求めず  
姓名 櫻蔭會人事係沼澤孝  
母堂 誠實謙讓にして猶教職に従事せらる  
人事係 井上てい  
沼澤 孝

文學博士 尾上柴舟先生序  
東京女高師教授 曾根保著

新菊判美本  
一三〇頁

最新刊

# 倭漢朗詠集註解

定價 一圓五十錢

書留送料 十五錢

「倭漢朗詠集」に心を惹かれたい人は無い。たゞ手頃な本の無いのを憾みとする。本書は難解な字句に懇切な注を加へ、漢詩文には訓點を施し、又読み下し文をも添へて、初學の人の便を圖り、簡明な譯文によつて、朗詠を愛好する人々の好伴侶として敢て推薦する。次第である。尚本書は女子學習院版御物「倭漢朗詠集」を土臺に、雄山閣の「朗詠選」の三種をも加へ、書道帖「晚翠軒の倭漢朗詠抄」の三種を、若葉館に精進せられる方の便宜に資してある。乞ふ、一本を座右に備へられることを！

目次内容  
序……………尾上柴舟  
一、女子學習院「倭漢朗詠集」註解  
二、雄山閣「朗詠選」註解  
三、鳩居堂「若葉帖」註解  
四、晚翠軒「倭漢朗詠抄」註解  
附、大納言藤原行成傳  
索引

東京市神田區三丁目二番 弘道閣 振替 廣島 二四九四五番

## 家事害蟲講話

正木十二郎著(新刊)

四六判三三〇餘頁 定價三圓五〇錢  
圖版 二一〇 送料 一二錢

衣・食・住並に人體に關する害蟲のため被る損害は驚く可きものがある。本書は此等害蟲の名稱形態經過習性並に驅除豫防を明かにし家庭に於ける害蟲の認識を深め且つ其損害を未然に防ぐ爲講述したものである。人的並に物的資源確保の叫ばれる今日家事科擔當諸姉の一讀を望む。

發行所 廣島市田中町四三番地

家事科學研究會

振替 廣島 二四九四五番

# 美女子美術専門學校

校長 男爵 佐藤達次郎

昭和九年十二月本郷菊坂ヨリ杉並區和田本町八六〇へ移轉  
新宿ヨリ西武電車又ハ青バスニテ天神前下車左へ入り約三丁

- 日本畫師範科
  - 西洋畫師範科
  - 刺繡師範科
  - 花織師範科
  - 造花師範科
  - 裁縫師範科
  - 日本畫高等科
  - 西洋畫高等科
  - 刺繡專修科
  - 花織專修科
  - 造花專修科
  - 裁縫專修科
  - 家洋和造刺
  - 政專專專
  - 修修修修
  - 科科科科
- ◎學則案内入甲の向は郵券三錢添付申込ありたし

入學許可 願書受付順ニ依リ成績審査ノ上許否ヲ決定通知ス  
寄宿舎 校庭内ニ寄宿舎ハ中等教員無試験檢定ノ特典アリ  
入學資格 高等女學校卒業程度若クハ修業年限五ケ年ノ第四學年修了者  
出願期限 一月十日ヨリ三月三十日迄

# 東京女子醫學専門學校

東京市牛込區市ヶ谷河田町一〇(電話牛込・七七・七八・七九番)

(市電河田町・市バス「女子醫學前」下車)

- ◇出願期 一月四日より三月二十日まで
  - ◇募集人員 豫科 百五十名
  - ◇入學資格 高等女學校卒業程度
  - ◇試験日 三月二十四・二十五・二十六日の三日間
  - ◇試験科目 國語(作文を含む)數學(代數・幾何)英語・試問
- 規則書入用の向は郵券三錢封入の上申込まれだし

校長 吉岡彌生

## 生徒募集

## 生徒募集

## 皇紀二千六百六年念 寫真決定版について

曠古の大祝典を永遠に傳ふるため記念の佳節以來數ヶ月に亘り洽く材料を蒐集中でありましたが過般の盛典を最後に之を取纏めて愈々臨時特別號を發行する運びとなりました。本號には特殊装置の撮影にかゝる大祝典場のパノラマ展望寫眞を始め子々孫々に傳ふべき有謂記念寫眞を悉く網羅収録し完璧なる決完版として之を世におくりまします。教育參考資料にも甚だ有益のものと思ひますから是非一本の御購入をおすすめいたします。

— 體 裁 —

- 一、菊倍版全アト紙使用
- 二、總頁百二十頁内外の豫定
- 一、頒價金一圓二十錢也  
(他三郵税十二錢)

同人法團社  
部フラグ  
社信通盟同

## 新 徒 集 落 募 念

無試験檢定認可 (一ヶ年卒業) 四月一日始業

### 幼稚園保姆養成所

入學資格 女師卒 高女卒 專檢合格等

### 邦文タイピスト養成講習

三ヶ月卒業 一月六日開講に付急募  
受講資格 高小卒以上(高女上級生に適當なり)

### 女子商業生徒大募集

甲種程度 (四ヶ年卒業)  
入學資格 尋卒以上二三年編入高一又ハ高二修以上  
一年二〇〇名 二年三年各若干名 四月一日始業

東京小石川大塚町 眞 靜 學 園  
電話大塚 〇二七六

## 趣味の微積分

四六判 洋布裝  
上製二二六頁  
定價二圓三十錢  
送料 十四錢

坂井英太郎校閲★坂井 豊著

本書は微積分の根本精神と其の自然科学並びに文化科學への驚く可き機能とを極めて平易な文章の中に淳々と説きすゝめ讀者をして識らず此の學に對する興味と理解を生ぜしめんとしたものである。著者は二十年の數學教育の経験と多年の微積分學への蘊蓄との昇華せられて成る本書は其の叙述に於て全然舊套を脱し速度を説き、彈道を披ひ、曲率振率に直入し、求積の核心を捉へ、微分と積分との逆關係を其の根本觀念に於て追究しつゝ遂に微分方程式の極めて高踏的な表現にまで讀者の數學する心を高めてゆく。本書こそは關孝和以來久しく日本人の血液の中に沈潜せる數學的才能を再び千萬人の知識人の上に呼び醒さんとする警鐘であると言ふも過言ではないであらう。

坂井英太郎著	微積分學 (上)	定價 二圓五十錢	送料 十四錢
坂井英太郎著	微積分學 (中)	定價 二圓	送料 十四錢
坂井英太郎著	微積分學 (下)	定價 一圓五十錢	送料 十四錢
竹内 端三著	積分方程式論	定價 三圓	送料 十四錢
吉江 琢兒著	微分方程式論	定價 一圓三十錢	送料 十四錢
關口 雷三著	微積分學道論	定價 四圓	送料 十四錢
田中 正夫著	高等微積分學	定價 三圓五十錢	送料 十四錢
坂井英太郎著	微積分學演習 (全三卷)	定價各三圓五十錢	送料各十四錢
白石早出雄著	文科の數學	定價 三圓	送料 十四錢
坂井英太郎著	高等數學 初歩	定價 一圓二十錢	送料 十四錢

## 禪と數學

坂井 豊著 價一・八〇 送一四

禪と數學、此の一見何の聯絡も無き相な二つの對蹠的な命題をとりあげて、著者は其處に獨自の藝術的境地を展く。即ち茶道と共に我國獨自の形態をとつて發達してきた禪が武士道精神に結びつき其處に高邁なる日本精神文化の花を開いた。かゝる禪の汎神論的虛無の境地に立つて著者は生活を語り、宗教を語り更に數學のより觀念的歸納を思辨する。

發 兌 東京市神田區 合資 共 立 社

振替東京46074番  
電話 神田 1518・2624

看護婦募集

東洋内科醫院

東京市麹町區九段四丁目  
電話九段(33)六二番、六三番

院長醫學博士 高田 重正  
院長醫學博士 高田 明安  
次長醫學博士 高田 重正  
院長醫學博士 高田 明安  
院長醫學博士 高田 重正  
院長醫學博士 高田 明安  
院長醫學博士 高田 重正  
院長醫學博士 高田 明安

南 湖 院

神奈川縣茅ヶ崎町海濱

昭英學園

生徒募集

東京市下谷區下谷山町八番地  
東京市下谷區下谷山町八番地

新築移轉

受驗部

女高師・音樂學校・津田塾・女子大・其他  
專門學校・受驗準備  
數學・國語・英語  
本科—高女卒業生組  
每日午前八時—午後三時  
別科—高女五年生組  
日土科—高女四年生組  
特別科—高女四年生組  
一週二回放課後  
寄宿舍完備

東京藥學專門學校女子部募集

(昭和十六年度)

一、募集人員 一年百二十名 (入學案内要三錢郵券)  
二、願書受付 昭和十六年一月十日ヨリ三月二十日マデ入學許可  
者定員ニ達スルトキハ期間中ト雖受付ラベ切ルコトアルベシ  
文部大臣指定

一、卒業生ノ特典

藥劑師免狀無試験下附  
中等教員化學科免狀下附(優等生)  
東京藥學專門學校女子部藥學士ト稱ス

校長 藥學博士 秋 谷 七 郎  
東京市下谷區上野櫻木町三一 (電話下谷一六五〇)

東京市神田區旅籠町二丁目十二番地

廣 業 館 印 刷 所

電話下谷(88)〇五五七番  
四四八二番

昭和十六年一月十二日印刷 (毎月一回)

替替

六五八九番 (櫻蔭會)

理學博士竹内時男先生 訂 堀口君子先生・中井壽惠先生 共著

最新物理學精義

【第六版】

全一冊・菊判  
定價參圓八拾錢  
送料 貳拾貳錢

東京女子專門學校名譽教授 吉村千鶴先生著

【重版】

新裁縫科指導法

全一冊・菊判  
定價壹圓五拾錢  
送料 拾四錢

本書は將來の裁縫科教授を如何に指導すべきかについて著者多年の實際教授の經驗に基づき法令及び教授要目を掲げ教授案の例を示し教材の取扱特にその指導法を獨特の觀察により懇切に説述した力作。  
文學博士 箕作元八先生著・東北帝國大學 教授文學博士 大類 伸先生補訂

西洋史講話

全二冊・菊判  
上下各定價六圓  
送料各貳拾貳錢

史學の權威故實作博士の西洋史基準書で三十年來推讃を博し尙大類博士により西紀一九一〇年以降が増補されて聲價愈々高く以て世界情勢の由來を知ると共に喫緊なる現下の時局に處する國民必讀の書。

日本中等教育數學會編

【重版】

數學教育講演集

全一冊・菊判  
定價貳圓五拾錢  
送料 拾四錢

本書は日本中等教育數學會の創立二十周年記念出版書として前後二十箇年に互る同會總會に於て述べられた數學諸權威の講演二十七を収録したもの定に我國數學教育の一大鳥瞰圖であり又變遷史である。

發行所

東京市小石川區小日向水道町  
振替貯金口座東京五參貳貳番

東京開成館

販賣所 東京市日本橋區吳服橋 林平書店・大阪市東區北久寶寺町 大阪開成館

東京市小石川區大塚町三五

東京女子高等師範學校構内

東京市小石川區大塚町東京女子高等師範學校構内

編輯兼發行者 向 笠 慎 三 郎